



はせだより

広報



▲感染対策のため、規模を縮小して開催

デイケアセンター「症例検討会」を開催しました

◆経過報告と新たな取り組みについて紹介しました

昨年導入された「SPPB評価」の経過報告を行いました。ご本人さまの希望とSPPB評価の結果を用いて専門職がリハビリメニューを提供し、「スタッフ全体で問題点の共有、フォロー」を行ったことで、身体機能の改善と転倒リスクの軽減につながりました。

栄養科の発表では、4月より始めた「居宅療養管理指導」の症例となります。デイケアのご利用者さまの「食生活」や「栄養面」に関する相談にのり、一人ひとりに合わせたお食事をご提案させていただいております。

院内でも、回数を減らしながらもお食事イベントを実施しました。「今こそ食事を楽しんでほしい」と新イベントを考案し、迫力のあるフランクにわくわくする「ステーキイベント」や秋の味覚をコーヒーと共にゆっくり楽しむ「カフェイベント」が開催されました。

事業所さまには、発表の合間に「試食会」として、新イベント「カフェイベント」より、「紫芋のモンブラン」の実演提供(写真:①)をさせていただきました。



MERRY CHRISTMAS!

■(株)明治さまよりご紹介



▲(株)明治 阪元さま

株式会社 明治の阪元さまより、在宅用「栄養補助食品」をご紹介いただきました。ご持参いただいた商品はサンプルとして事業所さまへお配りしました。

◆訪問リハビリについて

ご利用者さまの中には通所が困難な方やリハビリに消極的な方もいらっしゃいます。そういった方を「訪問リハビリ」でサポートしています。病院と連携し、ご利用者さまの希望や状態に合わせたサービスの提供を行っており、様々な方が受け入れの対象になります。今後は専従スタッフを配置し、新規利用者の更なる受け入れを目指しています。

◆地域をサポートする新しい取り組み

新しい取り組みとして、地域の活性化や高齢者の生活機能の回復を目的に、リハビリ専門職と管理栄養士、健康運動指導士が短期間で集中的にサポートを行い、効率的に機能回復を図るサービス「短期集中予防サービス(C型)」を実施しています。専門職とご利用者さまが日々の取り組みを振り返り、話し合うことで自立支援を行います。今後も皆さまが「より良い生活を続ける」ためのサポートとして、努めて参ります。



▲「脳の活性化」のため塗り絵・脳トレを導入



▲訪問先での歩行訓練の様子



▲午後の活力は美味しいご飯▲



▲自主トレの資料配布や説明も行います



▲演奏会の様子



▲専門職が活動に対するフィードバックをします

入院・転院のご相談

<空所情報>※12/26現在
回復期病棟(5床) 療養病棟(2床)
ホームページで確認できます

医療法人社団誠和会長谷川病院
■地域連携部(MSW): 渡邊、山本、安部
TEL:043(444)0137
FAX:043(444)0257
HP:<http://www.hphasegawa.or.jp/wp/>

